

## 市長と語る会(H30. 11. 5 白糸台文化センター)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
1	伊勢丹が閉店すると聞いた。伊勢丹に用事があれば個人商店でついでに買い物をしたり、個人商店に来る際に伊勢丹にも行くなど、大型店と小規模小売店には相乗効果があり、他市から多くの方が府中市に来ると思うが、今後の集客をどのように考えているか。	22年前に伊勢丹を府中駅前に誘致をして商業の活性化を目指したころと今とでは、インターネットや格安の衣料品店で衣類を買うなど、人々の消費の形態が変わってしまった。百貨店は衣料品が売上げの多くを占める構造になっているので、衣類の売上が下がると経営が非常に厳しい。百貨店は撤退するが、三越伊勢丹には、テナント募集という形式の検討もあると思う。府中のまち自体が衰えてしまわないよう頑張りたい。
2	新甲州街道などの広い通りに自転車の走行マークがつくようになったが、どういう意味のものか。自転車専用道路とは違うのか。	自転車と歩行者、あるいは自転車同士の事故が多発している。自転車は車両であると道路交通法で定められており、自転車が安全に車道を走ることができるように自転車ナビマークの設置が進んでいる。ただ、甲州街道などの通行量の多い道路の車道側を走るのは怖いので、高齢者や子どもたちには、安全に走れるところを走っていただくのがよいと思う。
3	ちゅうバスを利用するが、30分に1本の運行を20分に1本の運行にできないか。	ちゅうバスは年間1億円の赤字になっており、増便は難しいところである。料金を上げたらどうかという声もあるが、車の免許を返納したり、自転車も乗ることをやめた高齢の方が、ちゅうバスを使えば外出できるという福祉的な側面もあるので、値上げも難しい。ちゅうバスの運行については、市民の皆さんの中からも委員として参加いただいている協議会で客観的な判断をしていただいている。
4	選挙で電子投票を導入する方向はないか。導入後に廃止した自治体もあると聞いている。	(選挙管理委員会事務局から回答) 電子投票のほうが開票が早いという利点はあるが、機器の維持や機器トラブルにより投票が無効になってしまったという問題があり、導入している自治体が減っている。 また、地方選挙だけしか電子投票が認められておらず、機器の設置費用も相当かかるため、現状では導入を考えていない。
5	11月から紅葉丘文化センターに地域福祉コーディネーターを置くことになり、非常にありがたいと思う。高齢者の相談は地域包括支援センターへつなげることができるが、どこにつなげるべきか分からない場合もあるので、コーディネーターの配置はよいことと思う。	市役所まで来れない方が、お困りごとを地域で相談できるようにしたいという思いが以前からあり、市が社会福祉協議会に委託して地域福祉コーディネーターを配置している。徐々に配置を増やしていかなければならないと思っている。

## 市長と語る会(H30. 11. 5 白糸台文化センター)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
6	市内に多くのマンションが建ち、人口が増えていると思うが、メリットとデメリットはなにか。	市民が増え、若い世代の人たちが入ってくることは、まちの活気につながりプラスの面がある。一方で、特に府中駅周辺にマンションが多く建ったことから、小・中学校の児童・生徒数や保育が必要な子どもの数が増え、小・中学校での教室の確保や保育園の整備に課題がある。
7	高齢者の医療費を削減するため、地域包括支援センターなどで無料の体操教室を実施しているが、自らお金を払ってスポーツクラブに行く人についても利用料を補助する仕組みがあれば良いと思う。	地域包括支援センターや介護予防センターなどの体操教室は、自分の健康のために、良い習慣をつけるきっかけづくりを目的に実施している。終了後はウォーキングを行ったりジムに通うなど、自分で習慣づけてくれることを目指している。スポーツクラブと連携事業を行うことはできるかもしれないが、利用料の補助を市が行うのは難しい。
8	自治会も会員が減る一方となってきた。市内に転入してくる人に、自治会加入の勧誘をしても、入らない人が多い。	市内におよそ12万5,000世帯があるが、自治会や町会の加入率は6割ほどで、多摩地域の中ではトップクラスだと思うが、毎年下がってきている。地域の支えあいという福祉の観点と災害時の対応など、自治会の機能の必要性はご理解いただきたいと思う。
9	地域で防災訓練を行っても、参加者に偏りがあって、いつも同じ人が参加している。	市としても、地域の方に声をかけ、文化センター圏域ごとに自主防災連絡会を立ち上げ、活動を始めている。また、総合防災訓練を市内3ヶ所に会場を増やし、多くの方に参加いただけるように工夫している。
10	ふるさと納税は府中市にも入っているのか。影響はあるのか。	都内の自治体は、ふるさと納税により市税が減収となっており、府中市も4億円程度の減収になっている。話題性のある返礼品は、マスメディアでも取り上げられるので、うまく活用していかなければならないと思っている。
11	若松町1丁目の品川道の歩道の真ん中に、ポールが立っている。通行の妨げになり、危ないので撤去してもらいたい。	現地を確認して、対応していきたい。 (担当課による現地確認)都道である新小金井街道の歩道に立っているポールであり、東京都に確認したところ、歩道の駐車対策と民地からの車両の出入りが適切に行われるよう設置されたもので、歩道が広いいため、通行に支障は無いと考えているため、ポールの撤去や移設は出来ないとの回答がありました。